

日本骨髄バンクの現状（平成 17 年 3 月末現在）

	2 月	3 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,664	2,066	204,710	262,012
患者登録者数	188	189	2,848	18,033
骨髄移植例数	78	87	-	6,339

注) 数値は速報値のため
訂正されることがあります。

1 平成 16 年度は移植 851 例、ドナー登録者数 26,664 人(実績報告)

平成 16 年度の骨髄バンクを介した移植例数は、15 年度より 114 例多い 851 例(累計 6,339 例)となり、過去最多を記録しました(内訳は国内移植 834 例、海外移植 17 例)。平成 12 年度に 700 例を超えてから横ばい状態でしたが、急増の背景には移植成績の安定・向上、中高齢者への移植適応拡大、コーディネート迅速化の取り組みなどが考えられます。

また、新規のドナー登録者数は 26,664 人で、15 年度より 1,975 人(8.0%)増加し、発足直後の平成 5 年度(26,844 人)に次ぐ数字となりました。増加要因として、公共広告機構様のキャンペーン CM、映画・ドラマ「世界の中心で、愛をさけぶ」や映画「火火」の公開、全国で 1,508 回に及ぶ献血併行ドナー登録受付・集団登録会の開催などがあります。

2 新理事長に正岡徹氏、任期終了の理事・評議員を改選

当財団の理事・監事、評議員が全員 2 年間の任期を終了したことから、3 月 25 日の通常理事会、評議員会で改選が行われました。新任は理事 22 人中 8 人、監事 2 人中 1 人、評議員 32 人中 11 人で、原案どおり全会一致で承認されました。

4 月 6 日の臨時理事会で互選の結果、新理事長に正岡徹氏(大阪府立成人病センター顧問)が選出されました。副理事長は齋藤英彦氏(国立病院機構名古屋医療センター院長)の再任で、常任理事(敬称略)は次のとおりです。加藤俊一(東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学教授)、小寺良尚(名古屋第一赤十字病院骨髄移植センター長)、品川保弘(特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会理事長)、鈴木利治(弁護士)、町田圭治(株式会社ケーティービー取締役)、堀之内敬(当財団常務理事兼事務局長)

3 平成 17 年度事業計画と予算

通常理事会、評議員会で可決・承認された新年度の主な事業計画は、1) 財政健全化、2) 診療報酬改定への取り組み、3) 普及広報活動の強化、4) ドナーコーディネートの充実・強化、5) 検体保存事業の再開、などです。

新年度の当初予算(一般会計)は当期収入が 13 億 9456 万円(前年度比 1 億 5624 万円増)で、事業の重点項目として、1) ドナー登録者への情報提供強化、2) 「チャンス」の献血者への試行配布、3) 地区普及広報委員・説明員の増員及び研修、4) コーディネーターの養成・増員、5) 患者主治医への説明強化、6) 個人情報保護への取り組み、などとなっています。

4 国際協力の現状・バンクを介して2回提供された方・DLI 状況

1) 国際協力の現状

			2005.1~3				~2005.3末
海外ドナーから国内患者へ			登録患者数	全抗原適合*	コーディネーター数	移植数	累計移植数
NMDP(米国)	日本		7	7	6	2	102
BTCSCC(台湾)			9	5	6	0	18
KMDP(韓国)			9	5	2	0	11
計			-				131
国内ドナーから海外患者へ			登録患者数	全抗原適合*	コーディネーター数	提供数	累計提供数
日本	NMDP(米国)		14	9	21	0	5
	BTCSCC(台湾)		0	0	0	0	0
	KMDP(韓国)		93	51	47	4	107
	その他の国**		-	-	-	1	18
計			-				130

- * 1人でも適合したドナー候補者が見つかった患者の数。
 - ** その他の国と地域は累計のみ掲載します。提供内訳は香港6件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件、ブラジル2件、ドイツ2件、ベルギー2件、カナダ1件、シンガポール1件。
- 2) 骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数) 222人
3) DLI(ドナーリンパ球輸注)療法の実施件数(累計数) 136件

5 「チャンス」に登録申込書同封、「解説グラビア」を作成

財団へ問い合わせされたドナー登録希望者には、パンフレット「チャンス」とともに、「登録申込書」「説明書」「登録のしかた」の3書類を同封して郵送する方式を、4月1日から開始しました。これによって、「チャンス」の内容を十分に理解したうえで、署名をした「登録申込書」を持参すれば、ドナー登録ができるようになりました。

また、ビデオ視聴が「必須」でなくなったことから、ビデオとともに説明資料として「解説グラビア」を作成しました。全国の血液センター、献血ルーム、移動献血バス、さらには登録受付保健所に配置しています。

6 「献血推進」で厚生労働大臣が緊急アピール、皆様のご協力を!

献血者が減少傾向にあることから、尾辻秀久厚生労働大臣が8日、緊急アピールを発表しました。皆様の献血へのご協力をよろしくお願い申し上げます。以下に抄録します。

我が国で初めて変異型クロイツフェルト・ヤコブ病の患者が発生し、英国等への滞在歴があったことから、輸血等に使用する血液製剤の安全性に万全を期すため、当面暫定的に、英国に滞在したことがある方の献血をご遠慮いただくこととしました。

このままでは血液が足りず、国民の命を救うことができないという危機的な状況となることが予想されています。しかし、事故や手術などで血液を必要とする方への供給が滞ることは絶対にあってはなりません。献血の推進と血液の適正使用に全力で取り組みます。

7 財団各委員会開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定	
常任理事会	公開	4/23(土) 15:30~17:30	廣瀬ビル2階会議室
常任理事会	公開	5/18(水) 17:00~20:00	廣瀬ビル2階会議室